

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	阿久比町役場		代表者名	田中 清高	
担当者部署	総務部		連絡先電話番号	0569-48-1111	
担当者役職	主事	担当者氏名	杉浦 広和	連絡先E-mail	
住所	470-2292 愛知県阿久比町大字卯坂字殿越50番地				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	高村 弘史	
評価	よい	
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	研修のフォローアップとして、今後のDX推進についてのアドバイスを	
アドバイザーへの要望事項	なし	

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり		
	令和6年2月28日	フォローアップ(オンライン)	無		
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
			15時00分	15時25分	
			活動時間（分）	25	
3-2. 派遣場所	会場名	オンライン	最寄駅	オンライン	
	所在地	オンライン	最寄駅からの交通手段	オンライン	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/
------	---------------------------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	検査財政課職員	1人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	研修後、阿久比町でDXを推進していくにあたり、どのような点に留意するべきか、またどのような方法で進めていくのが良いのかが判然としていない。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	DX推進のためのポイントが理解できるようになること。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	今後のDX推進に向けたアドバイスをいただいた。特に喫緊の課題である標準化への取り組み方や、DX推進に向けた業務改善の取り組み方を中心としたアドバイスをいただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容（具体的にご記入下さい）	DX推進のための人材として、①牽引する人材と②下支えする人材が必要であるとの知見を得た。DX化に向けた課題の中には単純なマンパワーが必要となるものもあるため、既存の人材を育成するだけでなく人数を確保するための体制作りも重要になってくること分かった。	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない 今後の取り組みに向けてのアドバイスに留まり、具体的な成果はこれから作り上げていかなければならない。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	なし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 実施せず。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	直近ではシステムの標準化を乗り切る必要がある。それと並行し、DX化を進めていく必要がある。	

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

